

2021年12月20日 第403号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に1000人

市民と野党で運動の大波を！

新署名を広げ、改憲反対の世論で岸田政権を追いつめよう！

改憲発議反対！辺野古新基地建設反対！敵基地攻撃能力保有反対！いのちと暮らしと営業を守れ！—総がかり行動実行委員会は12月19日午後、今年最後の「19日行動」を国会議員会館前で行い、寒い中でしたが1000人が参加しました。新たに提起された「憲法改悪を許さない全国署名」を広げ、改憲阻止の運動をさらに大きくしていくことを確認しあう行動となりました。立憲民主党の吉田はるみ衆議院議員、日本共産党の山添拓参議院議員、社民党の福島みずほ参議院議員があいさつしました。



主催者あいさつを憲法9条を壊すな!実行委員会の菱山南帆子さんが行い、1年のたたかいを振り返って「いのち・くらし・尊厳が軽視されたアベスガ政治を忘れてはいけない。立憲野党がばらばらでなく、力をあわせてたたかおう。2015年の安保法制反対の時のような市民の運動の波をもう一度起こそう。署名を広げて改憲反対の世論をつくろう」と呼びかけました。

女性による女性のための相談会の柚木康子さんは、「コロナ禍で、非正規で働く女性は仕事を失ったりして大変だ。相談会を25、26日に大久保公園で行う。非正規で年収200万円以下という働き方に本質的な問題がある。政策提言もしていきたい。カンパの協力をお願いする」と訴えました。

沖縄の闘いに連帯する関東の会の辻忠男さんは、「11月に具志堅隆松さんを招いて講演会を行った。遺骨が混じった土砂を辺野古の埋立てに使うてはいけない。来年は名護市長選、沖縄県知事選、参議院選がある。いっしょにがんばろう」と訴えました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の吉田健一自由法曹団団長は、「アベスガ政治を引き継いだ岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有を強調し、憲法を無視して海外で戦争する国づくりをすすめるよう

としている。許してはいけない。新署名を草の根から広げ、参議院選で改憲勢力に3分の2の議席を許さないため、たたかっていこう」と呼びかけました。

行動提起を憲法共同センター共同代表の米山淳子(あつこ)新婦人会長が行いました。

●兵庫

戦争法実行・敵基地攻撃能力への軍拡許さない いっせいに・県下で19日行動

12月19日、冷たい強風のもと神戸大丸前は日曜の大賑わいでした。大きな横断幕4枚、戦争法廃止のぼり5本、署名机などを持って18人が訴えました。兵庫労連の岡崎事務局次長の司会で、成山兵庫労連議長、井村 AALA 事務局長、松田共産党県委員長、津川憲法共同センター代表が、敵基地攻撃能力、軍事予算拡大、全国で実行されている日米軍事演習、米軍機のたび重なる事故、データ改ざん問題など、リアルにリリーススピーチしました。



中年の男性など数人が署名しながら「大変なことになったね」と語り、スマホ動画で宣伝の模様を撮影する女性もいました。

この日、県下各地でもいっせいに行動を行い、多くの参加で訴えました。

「憲法改悪を許さない全国署名」はじまる

全国市民アクションは、新たに「憲法改悪を許さない全国署名」を提起しました。全労連は、チラシ面を独自に作成し、単産・地方組織に配布することになっています。

全国市民アクションの署名・チラシのPDFは、憲法共同センターのホームページの「ダウンロード」に掲載していますので、ご活用ください。

<https://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2021/11/211126syomei.pdf>

当面の行動

- 1月12日(水) 憲法共同センター 「9の日」宣伝 12時～ 新宿駅西口
- 1月14日(金) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前
- 1月17日(月) 総がかり行動 国会開会日行動 12時～ 国会議員会館前
- 1月19日(水) 総がかり行動 「19日行動」18時30分～ 国会議員会館前
- 1月20日(木) 総がかり行動 街頭宣伝 18時～ 新宿駅西口
- 1月23日(日) 総がかり行動 とめよう改憲!学習講演会 13時45分～ 日本教育会館ホール

